

受講申込要領

受講のための資格・要件	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療機器の研究・開発、またはそれに関連した産業に従事されている方 ● 医療機器産業分野に関心をお持ちの方 ● 大学卒業または、本プログラムにおいて、個別の受講資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた方
募集定員	e-learningによる受講のため、特に設けません
申込受付期間	2026年3月1日(日)～11月1日(日) ※随時募集
出願書類	講座販売サイト「SHIN-LEARN」より、募集要項・出願書類(様式)をダウンロードし、必要事項を記載の上、提出してください。 https://www.shin-learn.shinshu-u.ac.jp/
出願方法	<p>①SHIN-LEARNにて会員登録 ②事前にご準備いただいた出願書類をアップロードし出願</p> <p>※ 郵送での受付は原則行っておりません。 ※ 申請書類に不備のあったものは受け付けられませんので、記載には十分ご注意ください。 ※ 受講者の選考は、提出された書類を基に行います。 受講希望理由には、これまでの自分のキャリア、本プログラムで学びたいこと、および修了後にどのように活かせるかなどが分かるように記入してください。</p>
受講料	65,000円(税込)



お申し込みはこちら

受講までの流れ



お問い合わせ先



国立大学法人信州大学
教育・学生支援機構リカレント学習プログラム推進本部

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
☎ 0263-37-2428 ✉ s_reskilling@shinshu-u.ac.jp
<https://www.shinshu-u.ac.jp/education/recurrent/>

信州大学 リカレント学習プログラム



2026年度

信州大学医療機器産業 人材育成プログラム

医療機器の研究開発人材に向けたリスキル教育プログラム

厚生労働大臣指定 一般教育訓練給付金対象講座

長野県産業人材カレッジ認定講座



「現場のニーズ」を、医療の未来を変える「製品」へ。

臨床ニーズの探索から、設計開発、法規制、そして事業化戦略まで。
医療機器開発のバリューチェーンを全方位から学び、アイデアを社会実装へと導く「実践力」と「俯瞰的な視座」を養う、全5科目・70時間の実践的プログラム。

- 対 象
- 医療機器の研究・設計・開発実務者
 - 医療機器の業事・品質保証担当者
 - 新規参入を目指す企業の技術責任者・経営層
 - 医工連携・開発プロジェクトの推進・マネジメント層
 - 医療機器産業への参入を支援する行政・金融・支援機関の担当者

開 講 期 間 》 2026年4月1日(水) ▶ 2027年2月28日(日)
(申込受付: 2026年3月1日～11月1日 随時募集)

医療機器開発の全工程を俯瞰し、社会実装を加速するために。

「構想」を「実装」へ。次世代の医療機器リーダーを育成する。

医療機器開発の成功には、技術力・臨床理解・事業戦略のすべてが欠かせません。

本プログラムは、長野県「医療機器産業振興ビジョン」を指針に、現場ニーズの特定から法規制対応、ビジネスモデル構築までを網羅。開発の最上流から市場投入(出口)までを体系的に学ぶ「一気通貫のカリキュラム」を実現しました。産学官の英知を結集した学びの場で、医療価値の新たな創造と、産業の未来を担うリーダーを育成します。



プログラムの特長

01

バリューチェーンを網羅する体系性

ニーズ探索から設計開発、法規制、そして事業化戦略まで、医療機器開発の全工程を一本の線で結んだフルパッケージプログラムです。全科目を網羅的に学ぶことで、分断されがちな工程を統合し、プロジェクト全体を最適化する力を養います。

02

「産・学・官」の第一線講師陣

信州大学の現役医師、PMDA元審査官、医療機器メーカーなど、エキスパートが登場。アカデミアの深い知見、行政の規制視点、産業界の実務ノウハウが融合した、本プログラムならではの多角的な講義を提供します。

03

現場のリアルを読み解くケーススタディ

医療機器メーカーによる参入事例など、実践的なケーススタディを収録。単なる理論に留まらず、開発現場で直面した課題や失敗から得た教訓を追体験することで、座学の知識を「明日から使える実務の知恵」へと昇華させます。

04

キャリア形成を後押しする公的証明と給付金制度

修了者には学校教育法に基づき、信州大学から「履修証明書」を授与します。履歴書にも記載可能な公的な修了証明として、社内評価やキャリアアップに活用可能です。また、厚生労働大臣指定「一般教育訓練給付金」の対象講座であり、受講料のサポートも受けられます。

Q1 専門知識がなくてもついていきますか

はい。専門用語の基礎から解説しますので、異業種の方や初学者の方でも安心して受講いただけます。

Q3 履修証明書はキャリアにどう役立ちますか

学校教育法に基づき大学が発行する公的な証明書です。履歴書への記載はもちろん、社内での昇進や専門性の証明として活用いただけます。

Q2 仕事と両立できますか

受講期間は最大11ヶ月と長く設定されています。平日の業務後や週末の集中受講など、24時間いつでも、ご自身のペースで受講することが可能です。

Q4 1日に視聴できる科目数や時間の制限はありますか

24時間いつでも受講可能で、1日の上限はありません。1日1講義ずつ視聴してもよいですし、休日などにまとめて視聴することもできます。

カリキュラム内容(カリキュラムより一部抜粋) ※変更になる可能性があります

本プログラムは総時間数70時間で編成されています。講義はすべてe-learning(オンデマンド配信型)となっており、社会人が学習しやすい環境となっています。カリキュラムの詳細については、webサイトよりダウンロードして確認してください。

本プログラムで育成する能力

臨床現場のニーズを的確に捉える洞察力

法規制を遵守し、安全な製品を具現化する設計力

適切なビジネスモデルで市場へ届ける事業力

STEP1 ▶ 探索	STEP2 ▶ 開発	STEP3 ▶ 参入	STEP1エリア	STEP2エリア	STEP3エリア
科目5 (臨床・ニーズ) 科目4 (イノベーション)	科目3 (設計) 科目2 (規制)	科目1(ビジネス)	■科目5:臨床医学 「現場の共通言語」 ■科目4:革新事例 「次世代の価値」	■科目3:設計・技術 「形にする技術」	■科目1:ビジネス 「勝てる事業戦略」 ■科目2:法規制(RA/QA) 「信頼と安全の基盤」
科目1 医療機器ビジネスと事業化戦略	“市場で勝ち抜くための「出口戦略」を描く” 技術力だけでは成功できない医療機器ビジネスにおいて、参入初期から描くべき「出口戦略」を学びます。複雑な商流、保険適用による価格決定プロセス、他社参入を防ぐ知財戦略など、収益化に直結する事業構築力を養います。 Key Topics 市場参入プロセス/保険償還/知財戦略/医工連携/海外展開				
科目2 法規制と品質マネジメントシステム	“規制を味方にする戦略的知識” 医療機器開発における最大のハードルである「法規制(薬機法)」と「品質管理(QMS)」を体系的に習得します。規格への適合やリスクマネジメント、市販後の安全管理まで、製品の信頼性を担保し、ビジネスを守るための必須知識です。 Key Topics 薬機法/QMS(ISO13485)/リスクマネジメント/各種規格/GVP(市販後安全管理)				
科目3 医療機器の設計開発と技術	“アイデアを「製品」に変える開発実装力” 医療現場のニーズを具体的な製品仕様へ落とし込む、設計開発の手法を学びます。ユーザビリティエンジニアリングやサイバーセキュリティ、ソフトウェアバリデーションなど、最新の技術要件にも対応します。 Key Topics 設計開発プロセス/ユーザビリティ(JIS T 62366)/サイバーセキュリティ/CSV				
科目4 医療イノベーションと実践事例	“先行事例から成功の視座を得る” 成功企業の開発ストーリーや、ベンチャー企業の挑戦、失敗から得た教訓など、数多くのケーススタディを通じて「生きた知見」を吸収します。既存の枠にとらわれないイノベーション創出のためのマインドセットを磨きます。 Key Topics 開発・参入事例研究/イノベーション				
科目5 臨床医学と医療ニーズ	“医療現場の共通言語と課題を知る” 医師や医療従事者と対等に議論するために不可欠な、医学の基礎知識を網羅的に学びます。主要な診療科における解剖生理、疾患、最新の手術手技を理解し、現場に眠る真の課題(アンメットメディカルニーズ)を発見する目を養います。 Key Topics 診療科の基礎(外科・内科・歯科等)/疾患メカニズム/救命救急				

【総時間数】・70時間(全科目履修)

【受講期限】・2027年2月28日まで

【修了要件】受講状況と課題提出状況により、総合的に評価します

※学習期間は最長11ヶ月です。2027年2月末までにすべての講義を受講し、レポートを提出してください。

※ご自身の業務等に合わせて、履修計画を立てて受講ください。